
樹海

chisa

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

樹海

【Nコード】

N9318P

【作者名】

chisa

【あらすじ】

2011 1/4 chisa

葉ずれの音や鳥の鳴き声 動物たちの音を聞きながら
そして 空から降る木漏れ日を浴びながら
森の中を歩いてゆくと ふと 池のほとりに出た
池のそばに腰をおろし 空を見上げた
青い空に雲が流れていた

もし 天国に近い所にあるなら
両手をこうやって空に伸ばすから
どうかこの手をしっかりと持って ひっぱりあげてくれませんか
たとえばこの世界に戻ってこれなくても？

きつと人はとっても大きなかばんを持っているのかもしれない
欲しいものをたくさんそのかばんに詰めこんで
でも 時が経つごとに詰めこみすぎて
そのかばんが破れて穴ができてしまった
でも 知らずに欲しいものを詰めこんで 詰めこんで
そして 拾ったものがないって思ったときにはもう
その穴から出てしまったあと
気づいたときには大切なものまで失ってた
そう 何かを手に入れば その分何かを失うかばん

これで 私はどうして人を信じることができないかがわかった
人を信じるということを手に入れたら
その分何かを失ってしまうような気がするから その分何かを
何でも どんなものでも どれだけでも入ってしまったえばいいのに
あれもほしい これもほしい それだけじゃたりない

すべてをください 私にすべてをください

樹海を彷徨って彷徨って出られそうにない

誰かがこの手をひっぱってくれるのかな

それとも森の動物が出口への近道を教えてくれる？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9318p/>

樹海

2011年1月8日20時35分発行